

1 平成26年4月教職員人事異動について

1 教職員人事異動方針

教育に対する県民の期待と要望にこたえ、学校教育の一層の進展を期するため人事行政の秩序を保ち公正にして適切な人事異動を行う。

- (1) 各学校の教職員組織の充実と均衡を図るため、全県的立場にたつて適材を適所に配置する。
- (2) 教職員の経験を豊かにし、気風の刷新を図るため、同一校長期勤務者の解消に努める。
- (3) 児童・生徒の指導の充実強化を目指し教員の特性、経験を生かす異動に努める。

2 平成26年4月教職員人事異動の重点項目

【小・中学校】

- (1) 小・中学校間及び小・中学校と特別支援学校間との校種間交流等多様な経験を積ませる人事交流を積極的に進める。
- (2) 管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員の積極的な登用を進める。
- (3) 女性管理職の積極的な登用を進める。
- (4) 同一校における10年以上の長期勤務者の解消及び新規採用教員については3年以上6年以内の積極的な異動に努める。

【県立学校】

- (1) 高等学校については、地域・学科間及び若手教職員の異動並びに多様な人事交流を進める。
- (2) 特別支援学校については、新規採用から3年以上6年以内の異動や異校種間の交流を進める。
- (3) 管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員等の登用を図る。

3 異動件数(退職者含む)

		小・中学校	県立学校	事務局	合計	前年度	増減
件数		1,149	360	127	1,636	1,735	▲ 99
内 訳	退 職	校長	11		11	80	▲ 4
		教頭	5		5	37	▲ 11
		一般	96	5	101	489	▲ 113
		計	112	5	117	606	▲ 128
	異動	788	248	122	1,158	1,129	+ 29
前年度		1,224	418	93	1,735		
増減		▲ 75	▲ 58	+ 34	▲ 99		

4 異動件数の推移(退職者を除く)

	小・中学校	県立学校	事務局	合計
平成26年4月	788	248	122	1,158
平成25年4月	751	289	89	1,129
平成24年4月	800	322	97	1,219
平成23年4月	841	325	126	1,292
平成22年4月	805	336	80	1,221

5 年齢別退職者数

	小・中学校	県立学校	事務局	合計	前年度	増減
60歳	184	78	4	266	288	▲22
59歳以下	177	34	1	212	318	▲106
合計	361	112	5	478	606	▲128
前年度	473	129	4	606		
増減	▲112	▲17	+1	▲128		

6 校長・教頭への昇任

()内は女性で内数

(1) 新校長

小	中	県立	計
43(6)	19(1)	12(0)	74(7)

前年度	50(5)	18(1)	12(2)	80(8)
増減	▲7(+1)	+1(±0)	±0(▲2)	▲6(▲1)

(2) 新教頭

小	中	県立	計
43(5)	22(0)	15(1)	80(6)

前年度	57(5)	26(3)	15(0)	98(8)
増減	▲14(±0)	▲4(▲3)	±0(+1)	▲18(▲2)

7 主な特徴

異動件数(退職含む)については、小・中学校が1,149件、県立学校が360件、事務局が127件で総数は1,636件となり、退職者数減の影響により昨年と比して99件の減となった。

【小・中学校】

(1) 校種間交流等の人事交流の促進

- ① 小・中学校間の円滑な連携を進めるための交流 34件(対前年 △14)
- ② 小・中学校の特別支援教育充実のための特別支援学校との交流 8件(対前年 +6)
- ③ 全国学力学習状況調査等で全国トップレベルの福井県の実践を学ぶための派遣 1件(新規)

(2) 管理職・事務局指導主事等への若手教員(49歳以下)の登用

- ① 小・中学校の教頭登用 6名(対前年 △1)
- ② 県教育委員会事務局等への登用 19名(対前年 +3)
- ③ 市町村教育委員会事務局等への登用 13名(対前年 ±0)

(3) 女性管理職の登用(昇任)

- ・小・中学校の女性管理職には12名(対前年△2)を登用(昇任)し、女性管理職数は51名(対前年+1)となった。
- ・全管理職に占める女性の割合は、8.4%(対前年+0.2)となった。

(4) 同一校長期勤務者の解消

学校教育の活性化を図るため、同一校10年以上の長期勤務者の解消に努めた結果、小・中学校では、昨年と比して0.5ポイント減の3.7%となった。

(5) 新規採用教員の3年以上6年以内の積極的な異動

多様な経験を積み重ねさせるため、採用後3年以上6年以内の積極的な異動に努め、新規採用から同一校で6年以上勤務する者の割合は、昨年と同程度の1.6%(対前年+0.1%)となった。

【県立学校】

(1) **地域・学科間及び若手教職員の異動並びに多様な人事交流の推進（高校）**

①地域間の交流

北部から中南部 35件（対前年+7）

中部から北南部 40件（対前年+8）

南部から北中部 19件（対前年△2）

②実業を中心とする専門学科と普通科の交流 26件（対前年△9）

③市町村立学校との交流

奈良市立一条高等学校 県→市 2名 市→県 1名

大和高田市立高田商業高等学校 県→市 1名 市→県 1名

※継続を除く

(2) **新規採用から3年以上6年以内の異動や異校種間の交流の推進（特別支援学校）**

①特別支援学校における新規採用者の早期異動

3年から6年以内の異動 10件（対前年+1）

うち障害種別の異なる学校間の異動 7件

②異校種間人事交流

対高等学校 1件（対前年±0）

対小中学校 8件（対前年+6）

(3) **管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員等の登用**

①県立青翔中学校（新設）の教頭に女性の指導主事（50歳）を登用

②県教委事務局に8名の若手（49歳以下）を登用（対前年±0）

2 平成26年度奈良県公立学校教職員新規採用者数

1 校種別

校 種	職 種	平成26年度	平成25年度	増 減	備 考
小学校	教 諭	205	231	▲26	
	養護教諭	8	7	+1	
	栄養教諭	2	3	▲1	
中学校	教 諭	130	126	+4	国20, 社20, 数15, 理10 音6, 美2, 保体25, 技3 家4, 英25
	養護教諭	6	8	▲2	
	栄養教諭	0	0	0	
県立学校	教 諭	93	125	▲32	
	養護教諭	2	2	0	
	栄養教諭	1	0	+1	
	実習助手	2	2	0	
	寄宿舎指導員	0	0	0	
小・中・高等学校事務職員等		4	4	0	
全 体	教 諭	428	482	▲54	
	養護教諭	16	17	▲1	
	栄養教諭	3	3	0	
	実習助手	2	2	0	
	寄宿舎指導員	0	0	0	
	事務職員等	4	4	0	
	計	453	508	▲55	

2 男女別

校 種	採用数	男	昨年	女	昨年
小学校	205	95 (46.3%)	40.7%	110 (53.7%)	59.3%
中学校	130	67 (51.5%)	50.8%	63 (48.5%)	49.2%
高等学校	55	44 (80.0%)	65.5%	11 (20.0%)	34.5%
特別支援学校	38	12 (31.6%)	21.1%	26 (68.4%)	78.9%
養護教諭	16	0 (0%)	0%	16 (100%)	100.0%
栄養教諭	3	0 (0%)	0%	3 (100%)	100.0%
実習助手	2	0 (0%)	0%	2 (100%)	0%
事務職員	4	0 (0%)	25.0%	4 (100%)	75.0%
全 体	453	218 (48.1%)	44.1%	235 (51.9%)	55.9%